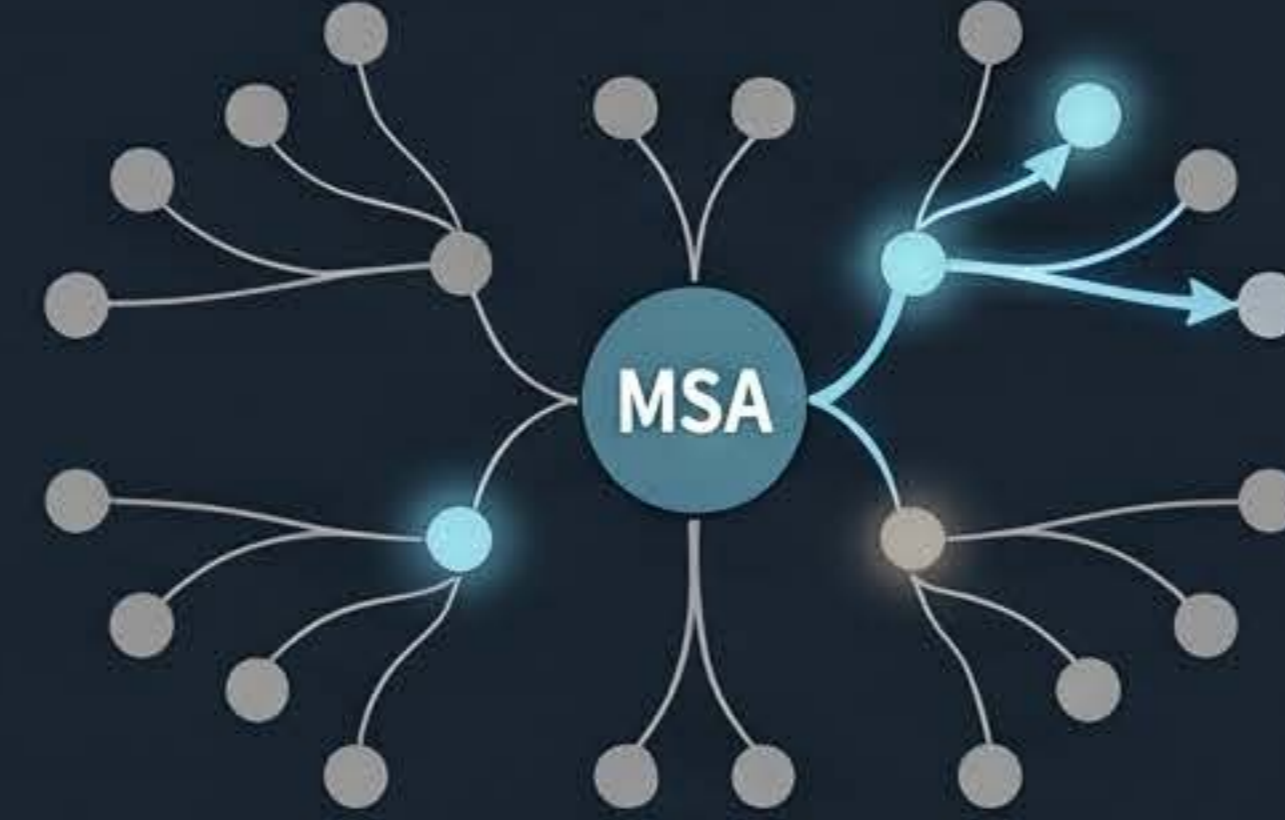
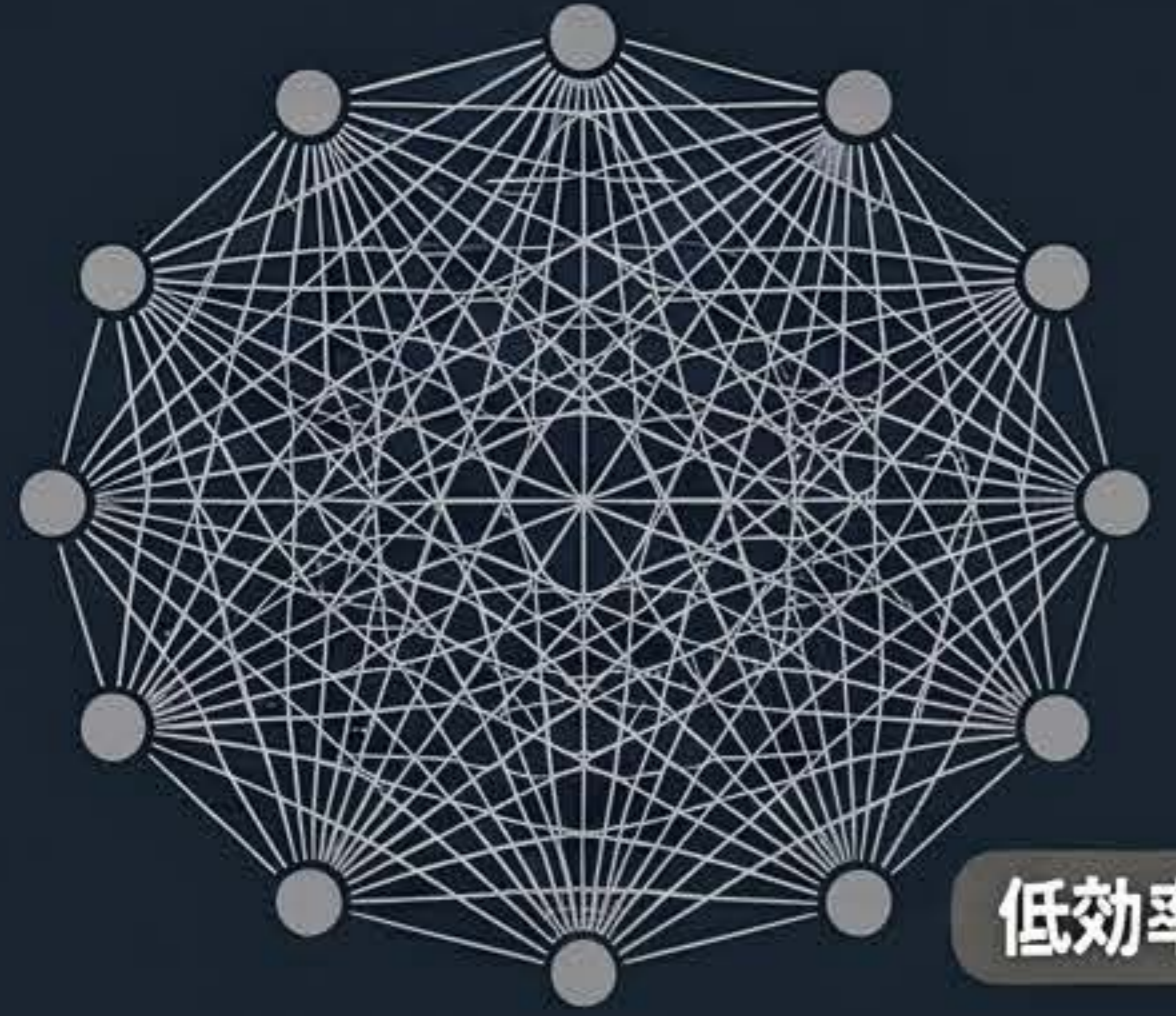


次世代オープンウェイトLLM「MiniMax M3」：知財実務にパラダイムシフトをもたらす4280億パラメータの衝撃

MiniMax M3の革新的アーキテクチャ：高効率と超長文処理

従来型アテンション（全結合）：計算量増大

MSAアーキテクチャ（インデックスプランチによる動的選択）：劇的効率化



4280億パラメータとMoEによる高効率：
総約428B → 推論時アクティブ約23B
(128エキスパートから4つ選択)

100万トークンの超長文コンテキスト：
MSA技術で計算量削減。プレフィル
速度9倍、デコード適度15倍加速



Thinkingモード：
高度な思考



Non-thinkingモード：
高速応答

ネイティブ・マルチモーダル（Step 0からの統合）



テキスト・画像・動画を同時学習。
ピクセルレベルの文脈を深く理解。



競合他社比 1/10~1/20の圧倒的な低コスト

50万トークン処理
約5ドル



Claude Opus

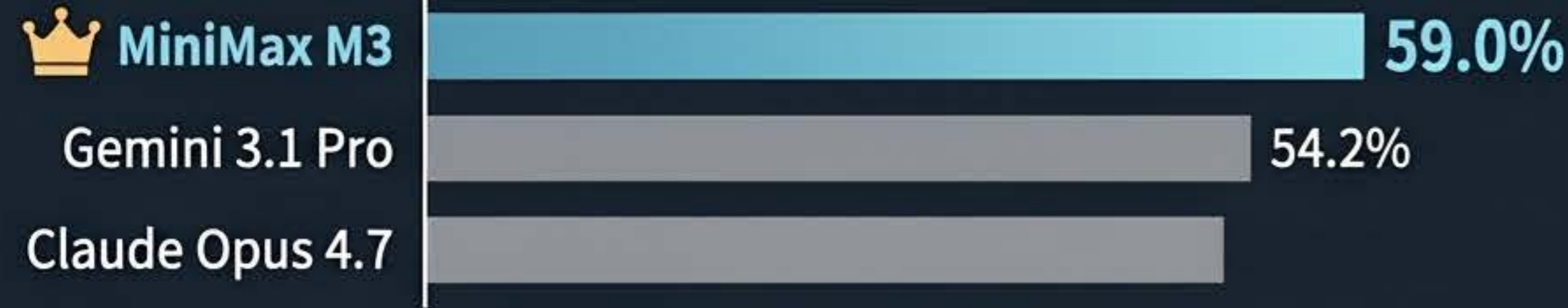
50万トークン処理
約0.27ドル



MiniMax M3

業界トップレベルの性能とコスト破壊

ベンチマーク比較：SWE-Bench Pro（コーディング・推論能力）



競合他社比 1/10~
1/20の圧倒的低コスト



24時間連続の自律実行能力：

GPUカーネル最適化タスクで1,959回のツール呼び出しを自律実行、速度9.4倍向上

知財（IP）・特許実務における4つの変革

【作成】マルチモーダル特許ドラフティング



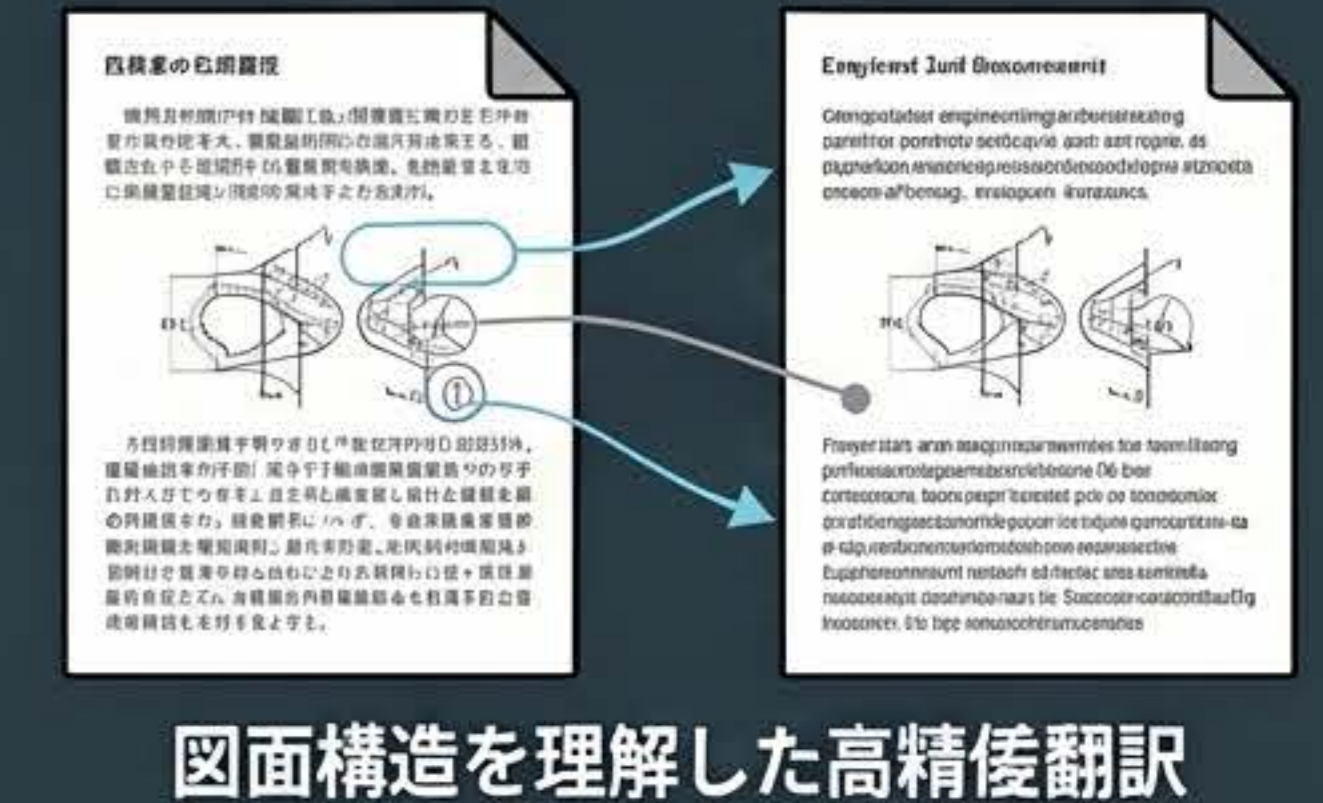
【調査】動画を対象とした先行技術調査



【分析】特許包袋（審査履歴）の全量解析



【翻訳】図面整合型の文脈依存翻訳



MiniMax M3は、専門的タスクを圧倒的な低コストと精度で代行し、IP業務の未来を再定義します。